三才雜録

巻三

1000
3
帙入
九ロ〆三六ノ代三

国立国会図書館　三才雜録 特1000-3

ガラス使用

特1000
3

三才雜録巻之二十

目録

黒田家〻宝琵琶之記
牛久保記
一遍上人四國證文
御書之写
尼子家一本之説
鎌倉大日記
藥草木異記
五代帝王物語

朽木文庫
黒田文庫
帝國圖書館藏

国立国会図書館　三才雜録 特1000-3
ガラス使用

北朝五帝畧記
有名星数
安宅九記
柳営貴女抄
南朝紹運録
依度国事略

黒田家ゝ宝琵琶之記

北方ゝ平経正青山を写されし琵琶也新家の時飛見ゝて光豪と
称ぬ叶豪其比経正の稚とやとゝを
見給ふの間ゝ琵琶所ゝ
立しゝ四条早雲の家ゝ
所ゝ伝ゆゝ和睦の時氏直来唐と
ゝ云
経正青山ゝ写して降ゝ給ふと辞ゝ

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

所ゝ家ゝ出来ゝ
ゝ
天正十八年七月　日　氏直判

銘ニ
保ゝ家頂

琵琶撥兵

袋　白茶地限ゝ
家　黒漆蒔絵ゝ
御袋　華
上箱　白木

木寸セ
甲　白ゝん
ゝ板　たゝやさん
ゝ板　さゝ
ゝ板　ゝ
ゝ板　ゝ
ゝ板　

康応[illegible]ノ時上蘆[illegible]
和曲と[illegible]と清信帰朝の後代々
幸の[illegible]と[illegible]蘆の甲[illegible]庚山の[illegible]の
縁りの[illegible]より有明の月の出るを
[illegible]ものしるし[illegible]晴山と云名
付けるを

松平能州寺領之代々[illegible]
牛久保記一冊 三十七葉計
牧野[illegible]能州寺[illegible]

始祖
牧野出羽守保成 明応ノ比

右馬允 初氏部允
享禄二年牛窪ヲ改テ牛久保ト書
永禄九年丙寅十月廿三日 卒法名皎月
光輝

一遍 何野通廣二子 松寿丸七郎通弘
号智真坊又云隨縁坊
正応二年八月廿三日示寂

清信光寺 藤沢道場 遊行金光寺 七條道場 時宗上人

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

輿以下諸国上下関し渡海以下印判形無
其須可越過之旨可被仰付国し守護
人也若於遠乱在之可者就注進可被
処罪科之由可被仰付也依執達如件

永享八年　　左京大夫奉之
十二月十一日

遊行上人被廻国し条任先例其国し
守護人調賠賄并以夫駄五十疋被送
通之旨依仰執達如件

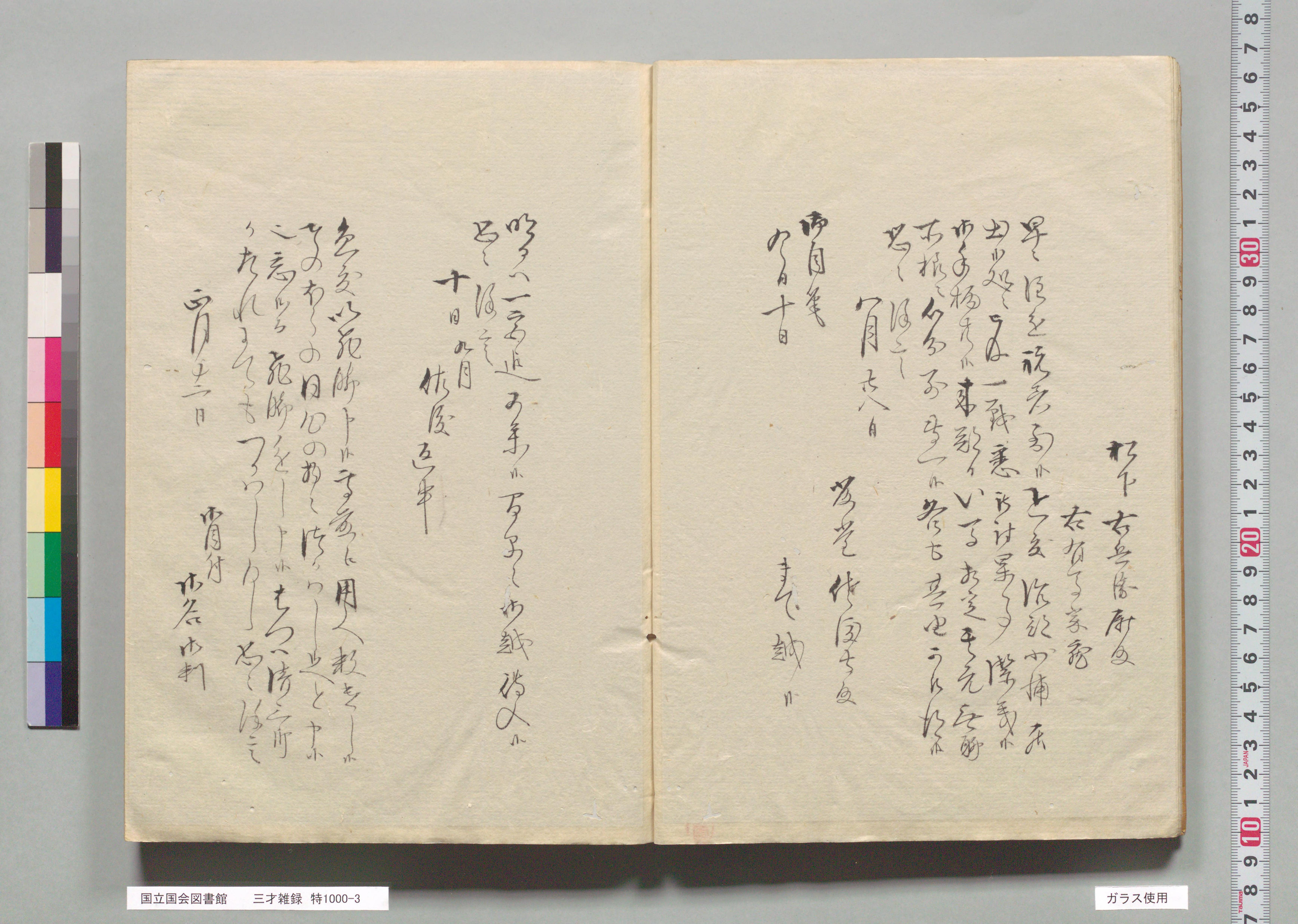
永正十年　　左京大夫義興
三月十五日

諸国守護中

一　元模根乗物ノ事
　　出注文ノ事　　金作紙ノ事
　　馬し乗之時ノ事　　毒田笠ノ事
　　法之事

以上

　　竹名内利
　　堀尾作左衛門尉
　　[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

井戸方へ　清三郎へ
本保之

蜷井の歌は少し悪敷
之事なれ共　御慰し
迄　拙作御目に
かけ申候　以上

九月十二日　山そ二三拾

丹保信濃守

山そ　本多弾正大弼殿
竜郎　小笠原
左遷御書　其上御上洛之
孫学

第八　千万阿弥陀仏

寿永　元年
七月廿七日　清利

三日　伊豆守

敬信殿　拙作　御覧
之力　一腹　馬一疋　到来
表　御傍　度々　拙城　清友
金銭　数多　討死
三度　感悦　奉
少将殿

伊豆新八郎
殿と柳門
真之助
者ども
情

十月二日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

頼朝ヶ景廉に[illegible]文

下美濃守[illegible]

[illegible]功[illegible]

[illegible]月之[illegible]早々領[illegible]

[illegible]

建久二年三月二日

足子一説

高久 二郎左ヱ門尉刑部少備前守住近江国
犬上郡足子邑法名心阿

詮久 弥六刑部少出羽守号同明院阿阿

国貞 二郎宮内少宝道高度槌内

持久 刑部少 清定 刑部少

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

経久　又四郎　民部少　伊予守
住出雲国能義郡富田城略救国
下野守

政久　民部少　永正十年九月二日子大内合戦
討死廿六

晴久　右二門尉　代理大夫
天文廿一十二三　叙任従久家督永禄
三十二廿四死四十七

刑部少輔

宗久　四郎　塩屋民部少

勝久　孫四郎

子刑部少同時被殺

女子　松田左近妻

通久

義久　下野守　右二門尉
法名瑞閑

鎌倉大日記

治承四ヨリ天文八マテ　関白將軍執権ニ
改所　同住所ト分テ記ス

寿永二年　一條参議高能
二位羅　掃部頭親能
文治四年　土肥二郎実平
二位羅　大膳大夫廣元
同五年　中宮大夫康信
二位羅
建久元年
改所
同年
同住所

嘉應二出家法名善信兼久三八死八十
二才

建久三年　收四郎国親
二位羅
同五年　三條左工門尉有能
二位羅　親能再任
同七年　信濃守行光
二位羅
正治元年　里見判官義直
改所
建仁元年
二位羅

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

同三年　武蔵守朝改
二位羅
元久三年　駿河守季時
二位羅
兼元元年十一月十一日上階　大膳大夫師員
改所
建暦元年　中原書博士師俊
改所
建保元年　行光卿　信濃守行盛
改所　法名行念　位四十一年　評定衆
同二年　民部少輔親廣
二位羅

同
十一月十一日親廣卒院　伊賀太夫光季
被補　中同月十九日光季
同年　伊賀式部丞光宗
改所
兼久三ヨリ泰時時房両六位羅上階北條
家補之故ニ不記
暦仁元年
同住所
宝治元年　備後守康持
同　太田民部太輔康連
建長五年　筑前守行泰
改所　行盛子

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

康元元十一月出家法名行善

二嘉元年 太田民部少輔康宗

同住所

弘長二年十月三日康連死 行泰子 加賀守行頼

改所 太田美作守康有

文永元年 同住所 筑前入道行善

改所 再任

同二年 行泰二子 常陸介行実

同 行泰才 伊勢守徒法名行領

同二年

改所

同九年七月十三日行実死 三十四 根津守親改

同住所 下総守頼綱

弘安四年 判官行忠 行一

改所

同二年 信濃守時連

同 根津入道道嚴

同住所 行盛末子

同八年 行義孫行有子 出羽守行蔵

同 出羽守行蔵

二応三年

改所

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

同　同住所
乾元元年
改所
元德元年
同
正慶元年
同
同二年
同
建武
同住所
延元二年

信乃守時連道大
再任
行貞　行曉
美作入道　行惠　俗名貞衡
行藤二子　出羽入道〻蓮　俗名貞藤
行純孫盛綱子　時綱
三河入道　行誣
大膳大夫廣秀

同　同
三暦応元
改
暦応二年
同　同
同三年
同
観応二年
改
文和元年
同　同
二年

信濃入道〻大
筑前守兼改
行惠子
山城守行直
年人二顕行
行忠孫通衡子
山城太夫判官行光
行藤孫時藤子
安木守成藤

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

同
同四年
同
延文元
改兼
康安元年
改兼
貞治元年
改兼
同二年
改兼
同六年
改

下総守道最
成藤再任
畠山国清
山城宮内氏貞
駿河入道忻惠
遠江入道〻超氏貞
山城宮内入道行康
再

応安五年
改所
永和元年
改所
康暦元年
改問兼
永徳元年
改問
同二年
改問
同三年
改問

式部大輔入道及改
三位
宮内入道行康
及改
道超
及改
因幡三郎左衛門尉
貞盛

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

至德元年
改同
明德元年

同四年

応永三年

同二十二日

下野守清春

反改

三河前司定種

下総守氏盛

駿河入道行業

同書

頼朝童名鬼武者

義経首五月十三日鎌倉ニ来ル藤沢ニ埋ラル

元久二年文覚流鎮西三度目

寛喜元年十一月朔夜小山朝長遇日蝕同

十七日死四十二

藥木草異号

反魂草　紫苑　萬歳果　啓花　土無夏扇　枇杷葉

還魂子　青箱子　老鼠花　芫花　馬駝　馬勃

馬英花　合歓　土將軍　艸　毛蕓　艾蒿　旋覆花

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

王公風 土倍子
千里光 石決明
金佛草 旋覆花
聯步 續隨子
四牛頭草 夏枯草
山棱 藜芦
山花菜 防風
脚蓮 雞爪黄連
猴梨 山查
一握金 兎糸
刺〻牙 土萸
仕子 巴豆
野甜菜 車前
鼠桑 卷耳
狗橘 青皮
紫桂 桂心
莫鰍 蔡爪
九真藤 何首烏
白地芳 地膚
野油花 金佛草
石耒 山茱萸
桑上半兒藤 金銀花
住血草 早蓮艸
荊崗 柱荻莫
下〻藤 石南葉
木賸 石菖蒲
青露 芙蓉葉
紅内消 土味子
皮婦草 百部

金鎖匙 山豆根
麪蔔 蔔根
黄花 郎艸 蒲〻芙
遷〻活 葫蘆
萬歳子 山核桃
鶴翎 婆羅樹
白薇 草蘚
朝天木蓮花
女草 萎蕤
蛇蘚草 蛇含
生頭 茹蒭
地扁竹 射干
像藻 像草
猫耳刺 狗脊
七根草 車前子
蜀葵 芫花
落鴉爪 王瓜
幸夫
夜牽牛 紫苑
莫枝草 天明精
大頭芥 蕪菁
野茄 猩蒼耳
櫨樹 合歡
飲頭 草蘚
鳳翼 射干
像頭 蔔茹
竹青 竹茹
鳳油刺 伏牛花
雪裏青草 天明精
耳環草 鴨跖艸

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

石蚊納　杓杞子　戾星子　蘭艸子　嗜星艸　石明蔓
御米蠶　茅　檝壁香　景天　八角茶　玉加葉
十大功労　円　大鼠刺　円　霞尼　芙蓉
老龍皮　松皮　北麻子　天麻子　皺面草　地松
地下艸　大薊　芳蔓山　敗醤　大蕪根　薊根
鬼鍾　帯腰　絡　石　矮樟　烏薬
金不換　三七　血見愁　円　両頭　夫南白附子
寺良　土茯苓　隨風子　訂子　雅蒜　水仙
秋膠　覆盆子　義物　錫　円　本龍　野葡萄
枇杷花　歎冬花　栄花　樹合歓

仙遺糧　土茯苓　栄　上羊児蕨　栄寺主
急性子　鳳仙花　龍　御艸　黄精　苦梗　桔梗
天絡絲　絲瓜　火炊草花　鶴虱
馬鞭花　都子

番薬

一トボシ　一エフノロ　一ヲリリカンキリ
一ケイジ　一ミリンカ　一サフラン
一ホルトカル　一テリアキヤ　一チヤオルス
一スラニンカスラン　一チリメンテイコ　一ヘイシムレイ

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

一コキンニヨ
一クリクミ
一ミイラ
一ヘイサラハサル

一ロウスメハン
一トロレヘイメ
一ヒリ、
一ウミヤシヨ

一マサウヤ
一テ、セリコン
一ウンカウル

阿蘭陀ニテ油ヲオ、ソヨ水ラワアト云

一木、ソヨワウサ
一月 カモメイリ
一月 アルテイヤ
一月 シンクテイヤ
一月 イヘリコン

八重イケノ花ノ油
野菊ノ花油
十菱ノ花油
十郎花ノ油
土用サノ花油

一月 ヒヨウラス
一月 レリヨウロシ
一月 サンホウシ
一月 メンテ
一月 アフセンテ
一月 アニイシ
一月 ヨヘンクリ
一月 アネイテ
一月 ムスカアト
一月 カリヨフブレイ
一月 テレメンテイナ

駒引サノ花油
白百合花油
二ハトコノ花油
益母草ノ油
茵陳ニ似タル物
大茴香ノ油
十茴香ノ油
イノンコトノ油
内豆蔻ノ油
丁子ノ油
杉脂ノ油

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

一丹 ア、ルト
一丹 ヨカニノラル
一丹 スクシイ子
一丹 トウセス
一丹 アランシヤウロム
一丹 セイラ
一丹 メルラロウルン
一丹 ロウリイ子
一丹 シナモミ
一丹 エチウヘン
一丹 オハアロシ

土ノ油
龍脳ノ油
ユハノ油
乳香ノ油
ミカンイ皮油
黄蝋ノ油
樅ノ実ノ油
タフノ実ノ油
肉桂ノ油
ソナレ松ノ実油
雞子ノ油

一丹 ジンシイフラ
一丹 キス
一丹 タワス
一丹 カアノ
一丹 オウラ
一丹 レイト
一丹 ホロンヘイ
一丹 ユルラシフセシイテレ
一丹 リイニ
一丹 ロサアト
一丹 セイテルヨウリウ

生姜ノ油
狐ノ油
狸ノ油
犬ノ油
金ノ油
金ノ油ノ代リ
鉛ノ油
併手桐ノ皮油
麻仁ノ油
白ミヤウヒノ油
丹化ノ油

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

一ヵ スルフル
一ヵ キヨノヾメス
一ヵ ルンヒカコウルシ
一ヵ ハルスミ
一ヵ ムスラキニフス
一ヵ ムカキスン
一ヵ ソラアトロン

一ワアトロロサロン（ホノー）
一ワアトマケルシルハ
一ワアトメンチヤアセン

イヲノ油
木瓜ノ油
蚯蚓ノ油
合油也
合油也
シヤクハエヒノ油
ホカ茄実ノ油

白イハラノ花ノ水
金銀花ノ水
車前草ノ水

一ヵ ロアキクモウニヤ
一ヵ ロイテルヨウソウ

地榆炒ノ水
丹瓦ノ水也

同名異実

一夏枯草　荒蔚　三白草
一鼈白草　翻　雞退咒
一黄獨　黄精　五芋
一白粉　朱粉　胡粉
一忍冬　麦門冬　金銀花藤
一木綿　杜仲

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

一菁花　桔梗　石火明
一千里花　夜明砂
一菩提樹　木患子
一真珠　玉屑花
一鵞不食草　石胡荽
一啓花生　山藥
一益智　龍眼
一寒水石　石膏　青塩
一萬年松　天門冬　玉柏

一万年青　敏葉芥
一洛陽花　十様錦　石竹
一仙人枕　枸杞
一鬼督郵　徐長卿
一百部　天門冬
一土瓜　葛
一丁香　椒攪　王瓜
一七里香　鳳尾　指甲　山礬
一弄箭　天麻　益母艸
一天仙子　王信子　萆茇子

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

一紅豆　亦豆　紅豆蔻
一酸漿草　苦戟　白姜黄
一白甘蔗　蚕体
一仙草　風蘭
一紫金牛　射干
一桑上羊児藤　東寧生
金銀花

五代帝王物語

後堀川院　後高倉子也　北白川院
始十楽院ノ僧正仁慶弟子　兼久三
年七月九日踐祚同十二月朔日即位御年
十後高倉ニ太上天皇ノ尊号アリ貞応
二年五月十四日法皇崩
貞応元年　三月二日元服　中宮初ハ太政
大臣ヲ房女同十二月十七日女御トス
同二年二月廿五后嘉録二七月皇后
宮同三年二月廿日号安喜門院ノ関白

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

家実女九才ニテ入内廿九日立后寛喜
元年四月廿日ニ司院同二年二月十
二日皇子誕生母ハ道家女十月廿八日
立太子負承元年十月四日譲位同二
四月三日中宮ニ藤壁門院九月十八日
崩廿五同二年八月二日上皇崩廿二

四條院　名秀仁　負承元十四春秋
仁治二年　二月　五日　元服　十一同三年三月
五日ヨリ不予九日寅時崩
宣仁門院　十二月十三日女御トス　同四年二月
廿三日院号

後嵯峨院　土御門御子
仁治三年　二月十五日　改始　同三月十八日即
位同二月三日実氏女女御トス十八同八月
立后　寛元二年二月十日皇子生
八月十日立坊　同四年　二月廿九日譲
位　宝治二年二月十八日中宮院号大
宮院　同三年二月一日内宮ニ上洛
泉殿小路

後深草院　名久仁後サカ第二子寛元元年二十
生同廿八日。

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

同三年二月廿七日閑院内裏造テ遷幸
○親王八ノ十一　十月着袴　四三廿九受禪　三ノ十一
皇太子三年　即位
建長二三月同二年　両度熊野御幸
三嘉元年三月廿日　高野山御幸
建長五年三月　元服　大宮院ノ妹
女御トス　康元二年二月　立后

亀山院　第二子　恒仁
三嘉二年八月　七日　立太子　三元〻年八
月廿六日　元服　同十二月　受禪　即位　十二月廿八日

即位　同十二月十九日　中宮院号　東二條院
文応元年十一月廿一日　実雅女　入内　十二月
廿二日　中宮　同二年　立后
弘長元年二月十四日　乙相女　女御トス　同
八月廿日　立后　文永四十二月　朔皇子生
三元〻年二月廿二日　閑院四録

北朝五帝畧記

光嚴　名量仁後伏見第一子母廣義門
院　正和二年七月九日乙未生花園帝為
養子八月　日為親王嘉暦元年七月
日為皇太子十二月廿八日元服元弘元
年九月廿日踐祚土御門殿太平記作十月十三日
十月三日受三種神器廿五日謀子内親
王号崇明門院十一月八日立仁為
皇太子正慶元年三月廿二日即位于
太政官廳時年廿四月廿八日改元五月

廿日中宮号礼成門院十月廿六日御禊
十一月十三日大嘗二年春立嫡子内親
王為后　負治三年七月七日崩年
五十三

光明　名豊仁光嚴同母第　元享元年
十二月廿三日生二年二月　為親王延
元元年八月十五日元服踐祚藤々良基
押小路第建武三年十一月二日受神器
於後醍醐帝十四日立成良為皇太子
十二月二日即位太政官廳　年十七暦応

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

元年八月十三日立孟仁為皇太子十
月廿八日御禊十一月十九日大嘗貞和
四年十月廿七日讓位十一月廿五日奉尊
号観応二年十二月日薙髪法名
真常惠康暦二年二月廿四日崩年六
十

崇光　名真仁始孟仁光厳長子母陽禄
門院建武元年四月廿二日生暦應元年
八月　為親王十月三立為皇太子
貞和四年十月廿七日踐祚良基押小路
第立直仁為皇太子十二月廿六日即位
太改官應年十六観暦二年十一月七日
奉三年号十二月廿三日以神器奉後
村上廿八日奉尊号明德三年十月晦
薙髪法名勝円心応永五年三月十三日
崩於伏見殿年二十五

後光厳　名弥仁崇光同母弟暦応元
年三月翔生貞和二二月着袴観応三
八月十七日光義門院令帝為親王加
首服踐祚上御門殿文和二十二月廿七日

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

即位年十二閏十月十八日御禊十一月十
二日大嘗四年三月廿三日讓位閏月二日
上尊号称新院七年二月廿八日薙髪
法名光融廿九日崩年三十七

後円融　名緒仁後光厳第一子延文三
年十二月十三日生母業賢門院忠安四三
月十五日著袴廿一日為親王廿三日元
服践祚推中納言藤忠光祈泉第
此日迄上御門殿七年十二月廿八日即

位年十七永和元十月廿八日御禊十二月
廿三日大嘗永徳二年四月十一日讓位上
尊号明徳四年四月廿六日崩十川第
年三十六

有名星数

商ノ巫咸四十四座一百四十四星ノ名ヲ定ム
戰国ノ頃魏ノ石申一百三十八座八百十星ノ
名ヲ定ム

斉ノ五德一百一十八座五百一十一星ヲ定ム各
星経アリ三家合テ三百座一千四百二十五星
日本陰川春海負享改暦ノ時アラタニ二十
一座三百八星ヲ名付定ム都合三百二十一座
一千七百七十三星皆名アルノ星也

寛文二年二月十日
今日安宅ト御成巳刻出御龍口ヨリ御船
ニテ安宅丸ノ前迄被為召安宅ニ於為
移高覧此時向井兵部御慰斗献

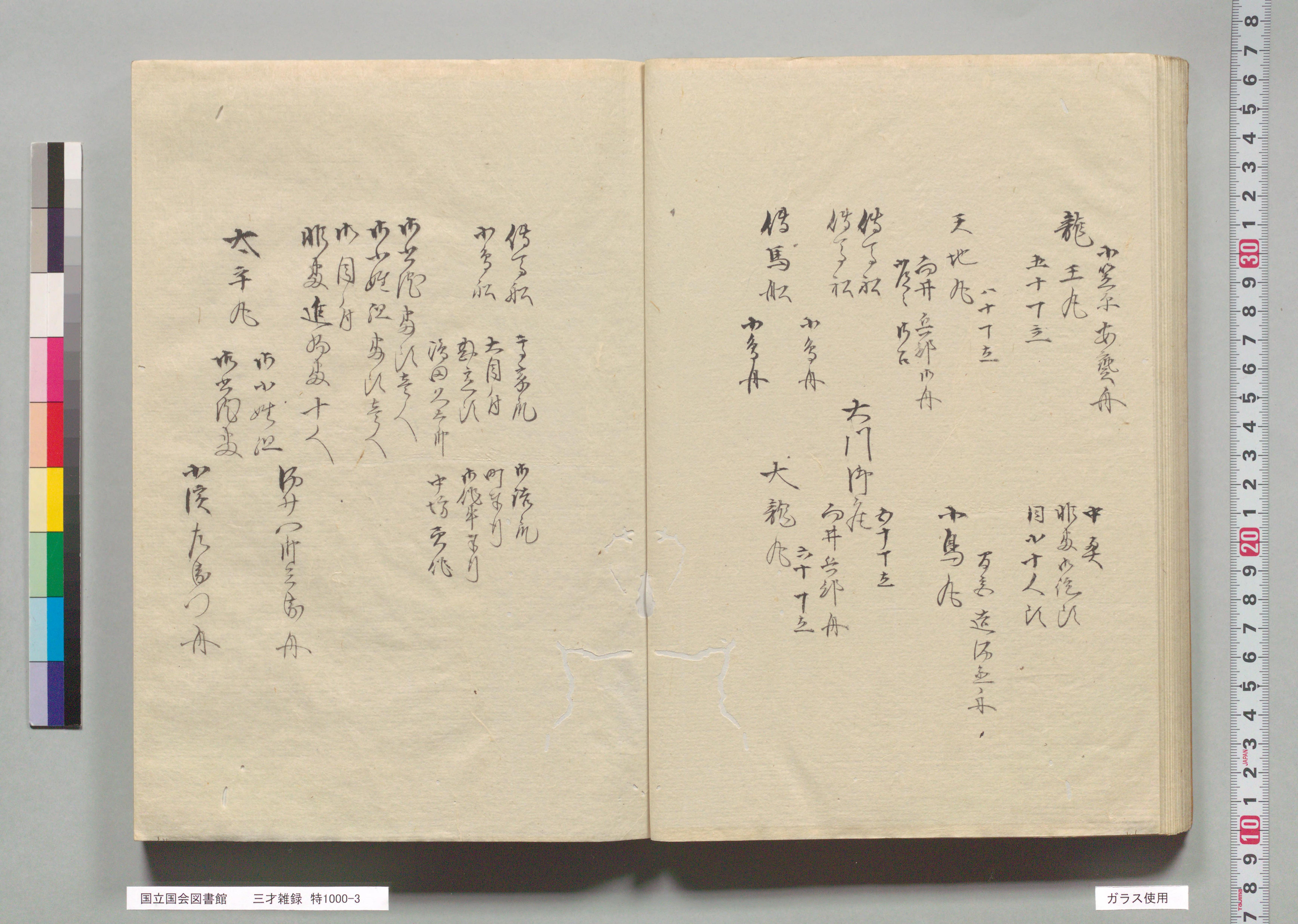
之暫時有テ御舟ニ於為召天地丸被召替
行烈ニテ川口迄被為成佃嶋前ニ御船留ル
此所天地丸ニテ御膳於召上兵部御博奢
兵蓬茉献之過テ川御座船ニ被召替
未刻還御

御船行烈

土佐左ヱ門舟

西安行烈

五十人組　伊佐平舟



国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

同十月廿五日御年廿五歳
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

神君尊母八木野左エ門大夫原忠政女天
文十年　廣忠君ニ嫁セラレ同十一年
寅十二月　廿二日　神君ヲ誕生同十二年
月離別后ニ又松平佐渡守俊勝ニ再嫁シ
玉ノ慶長七年壬寅八月　廿九日薨年
七十五法名傳通院菩提智香光
岳大姉　葬無量山傳通院寿経寺
神君御臺八今川ノ族関口刑部少輔原
親長一氏廣女后号筑山殿
天正七年己卯八月廿九日於遠州濱
松逝　法号清世院潭月秋天大姉
葬同所西来院　同時三郎信康
君母堂

徳廟御臺八戸井備前守物部長政女称大

御臺　文禄四年乙未九月十七日入滅
寛永三年丙寅九月十五日薨　法号崇原院
一品昌喬親王　仁清大夫人　葬三縁山
増上寺　猷廟母公

猷廟御臺　鷹司関白信房女　后称中九殿
元和九年　入滅寛永二
年八月九日御臺成延宝二年寅二月八
日薨　年七十三　法名本理院照誉円光
徽心大姉　葬傳通院置骨於高野山

嚴廟尊母　七澤作左工門女　号楽子
兼応元年壬辰十二月十二日薨　法号
宝樹院二品善城天栄大姉　葬東叡
山

嚴廟御臺　伏見貞清親王女　明暦三年
四月廿八日　西九入滅　同年七月十日御葬礼
万治二年九月五日　御臺成延宝四年
丙辰八月二日　亥下刻薨　三十七才
法名高嚴院一品月圓円真大姉　葬
寛永寺　同三年八月三日贈位

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

憲廟尊女　本庄太郎兵衛女　位号三九殿
貞享元年十一月九日従二位　元禄十五年
三月九日従一位　宝永二年乙酉二月廿二
日薨　年八十二　法号　桂昌院　仁誉典
国恵光大姉　葬　増上寺

同御臺　鷹司左大臣教平女　房嗣
養女　寛文四年十一月九日入輿　神
田館　延宝八年七月九日本城ニ入
宝永六年己丑二月九日薨　年五十四
法名　浄光院　一品　円山院　珠大姉　葬

東叡山

文廟尊母　田中理兵衛女　称保良子
寛文四年甲辰二月廿八日　薨　年二十
八　法名　長昌院　従三位　天岳台光大姉
葬　寛永寺
始葬　谷中善心寺　号　専光院
元徳二年十月廿九日　改葬　東叡山

同御臺　近衛関白基熙女　延宝七年
二月十九日入輿　同十二月十八日　昏礼

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

宝永三年二月十八日従三位　亡徳
三年四月二日従一位　享保十二年九
月廿七日入滅　元文二年二月廿八日薨
年七十四　法号天英院光誉和貞宗
仁大姉葬増上寺

章廟尊母　勝田玄蚊女号左京局
亡徳二年十月称月光院同三年四月
十三日従三位享保二年三月廿一日落
飾宝暦二年九月十九日逝法号

月光院理誉清玉智天大姉葬増上寺

同御臺　霊元帝皇女八十宮

有廟尊母　巨勢某女
享保三年五月朔日自紀州江戸ニ
入御住ス　同十一年丙午二月九日
薨葬東叡山法名浄円院稔臺
智鏡大姉

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

淳廟尊母　大久保八郎五郎忠直女
元德三年癸乙十月廿四日逝法名保
德院妙順日喜大姉葬　他上本門寺

南朝紹運録

後醍醐

延元元年十二月廿一日奉神器遷吉野
元亨日記裏書　紹運六
皇年代畧記
同四年己卯八月十二日崩年五十二同十
一月五日奉尊号神皇正統記吉野拾遺
帳者補任皇年代畧記　常楽元弘日記東寺
天正本太平記

尊良親王十カ
母贈大納言万世女後三位藤万子

一品中務々　元弘二年三月八日近土左国
増鏡　延元二年三月二日自害越前金
梅松論
崎

良委　大僧正
為二條良基養子
母今出川右府公顕女　南朝雑人

世良親王　太宰帥上野太守号　河端宮
母西園寺宰相中將実俊公猶連二作
冷泉南朝雑人作遊義門院

元徳二年九月十八日薨　増鏡　常楽院

宗良親王　中務々　征夷將軍
母同尊良　始妙法院門跡尊澄法親
王后還俗撰新葉集尊良同日迄讃岐
元中二年八月十日薨　年七十三号
冷泉寺

興良親王　一品
赴駿河国高狩野介貞長家　南朝雑人
云母貞長女　天授三年九月二十日薨

尹良（ナカ）親 王　二品　上野太守一品

元中三年八月八日
元亨十一年任兵部卿
賜源姓　征夷大將軍兼右近衛大將
二位中納言　応永三十一年八月十五日
於信州良合生害　信濃宮傳　並合記
号大龍寺　永享八年二月十五日建
於社尾州津島　于頭天皇若宮是也
大橋家傳
女子　大橋秀河守　平負高室

良王　於上州寺尾城主

母世良田右馬助改義女　永享七年十二
月廿九日移奴野城　明応元年三月五日
卒号瑞泉寺年七十八

信宣　大橋和泉守
母大橋修理大夫負元女
尾州津島奴野城主
大永二年四月三日卒号本蓮寺

良（ナカ）新　津島神主

護良（モリナカ）親 王
母氏部々三位局大納言源師親女

始為梶井門跡名尊雪号大塔宮天台
座主　文元弘三年二月十三日為征
夷大將軍建武元年十一月十五日流于
鎌倉同二年七月十六日一作廿三日為足利
直義遭害

女子　母竹原宰規女　雜六

隆良親王　母親房女　雜六
椋雲記ニ延文五年四月十八日護良子
陸良親王企逆心内裏ヲ焚クニ依師基
攻之陸良戦負テ被殺

靜尊法親王　或聖尊
始名惠尊聖護院門跡母民部卿三
位局　招運ニ后改惠尊
朝〻記母宰相実俊女

恒良親王
母新待賢門院藤原子阿野中將ニ廉女
延元四年四月十三日為足利直義鴆殺年
十五　皇年代畧記元弘日記ニ建武元年

二月廿三日立為皇太子

成良親王　上野太守

建武元年為征夷大將軍毋同恒良

延元四年（二十）四月十三日（十五）被鴆殺　年十六

紹運六建武三年十一月十二日

後村上　名義良（ノリナガ）

毋同恒良　兵部々陸奥太守　延元四

年八月十五日受禪十月三日即位改

元奥国　二統記吉野拾遺雜六

二年二十四年三月十一日崩　年四十三　鳩峯

雜事記応安元年三月十一日崩　年四

十一　二統記建武元年夏為親王

元弘日記延元〻年二月為陸奥太守

懐良（ナスナガ）親王　式部々

毋同尊良　菊池武政奉之号征西將

軍又号九州宮　嘉慶三年三月十

八日薨　肥後八代郡禁山

中務々関西親王　筑紫宮　建武二

国立国会図書館　三才雜録　特1000-3

ガラス使用

羊方征西將軍

聖助法親王　母少將内侍菅佐中女

聖護院門跡

法仁法親王　母大納言三位局左中將為道女

文和元年十月廿五日寂年二十五

玄圓法親王　母從二位守子山本左府実泰女

一乘院門跡

滿良親王　母中納言典侍親子花山院二位宣親女

恒性　母亀山院皇女大覚寺門跡

元弘三年三月十九日流越中后名越時有殺之

無文　名元選　母昭慶門院

遠州真山方廣寺開基　元享二年生

康応二年閏三月廿二日寂年六十八

紹運録

智良王　母照訓門院近衛局

尊真　母中納言内侍四條左大臣勝資女

弓醍醐宮　此二人見

南朝雜記

奠真醍醐宮一作、星尊　母少納言内侍隆資女

懐邦親王　上野太守母同尊良

新葉集作者

智良親王　上野太守一作守永

母照訓門院

長慶門院　一品前斉宮　祥子内親王

母中宮京極院　自野宮退下

宜次門院　一品権子内親王母同

瓊子内親王　新葉集作者

母中納言内侍

国立国会図書館　三才雜録　特1000-3

ガラス使用

幸子内親王　同作者
貞子内親王　同作者
皇女　帝臨幸吉野ノ時配吉水狐行
某言水院尊寿丸母是也
此余皇女十二人云々
日本史ゝ後醍醐帝皇子十五人皇女
十四人云々

後亀山　名熙成
母嘉喜門院藤勝子近衛左大臣徒
宇女　三年二十四年三月践祚明
年改元建徳文中元中九年閏
十月二日辛千嵯峨以後ハ松帝号
養君授神器号太上帝
応永三十一年四月十二日崩法名金
剛心寿　紀州玉川里　南朝雑ニ
惟成親王　中務々式ア々　新葉
新葉集ニ入

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

栖雲記云天授三年七月七日後村上第
二子也泰〻薨葬如意輪寺

泰成親王　東宮太宰帥同作者
一説懐良為養子号後征西將軍

説成親王　上野太守号護性院宮
毋公二位教子

円悟　円満院門跡
薩戒記云永享九年八月八日円満

院僧円胤還俗更名義有

円胤　円満院門跡自一身阿闍梨直
任大僧正後還俗奉兵文安四年十月
十二月為畠山所殺於紀州世称円満
院還俗宮
栖雲記円満院宮保勝法親王文安四
年十二月討ル南方記伝保勝ヲ後亀
山皇子トス
康富記ニ文安五年三月廿七日姉小路
判官坂上明世堺川志大石惟弘請取

賊首此円満院前門主還俗住紀州北
山有陰謀企島山左工門入道去年十二
月廿二日討之南朝部類云し

一 世泰親王 前坊大宰帥
後葬吉野如意輪寺

泰邦親王 師宮

南朝雑記

二 後村上皇子

師成親王 出アヽ 新葉作者
李子夜集ニ出家号惠梵

七 保勝親王 一品 又尊敦 同作者
或云遁世故八世他門上人為時宗遊行
十二世自是以来代々以遊行上人称南
門流応永七十月廿四日死

八 任瑜法親王 二品 称二条門宮又東南院宮
尾州中嶋郡大須左真福寺中興

九 良成王 号横西宮

十 泰国王 師宮 号高福院宮后出家号

賴瑜院大須庄

帝王系図ニ後亀山帝以皇子泰成親王

為皇太子 皇年代暦記云応永元年

二月奉太上天皇号 和漢合運云同三十

一年四月十二日崩

是ヨリ以下不詳覚所ヲ記ス耳

十 倉院

一書後亀山御子有奥極南朝称皇

帝是子十倉院同王子不詳其名

亡長元戊申十二月伊勢国司北畠満

雅世保侍賴木奉之為主將然為北軍

被破満雅戦死十倉宮子北帝和平

敗崖戦

栃雲記云後亀山皇子寛成親王

有差戦称十倉殿密々奔於勢

州大国司満雅謀反 又云文安元

年八月南方残黨相伐奉小倉殿矛
三皇子高福院門主捧神璽以居之吉
野称新皇然起兵於吉野紀州

行悟 円満院

良仁 所言

雜二ニ後出家号義恩

天基

雜二云永享中南方偽僭主也

尊雅

尊慶 遁世

尊子内親王

義仁

雜録云称妙福院宮始居伊勢国大
内後迁下野国忌承三十一年於天
濃国司児郡所擒

教尊 勧修寺門跡権僧正

宣因

東寺長者補任云高秀此人也
十倉院二男為禪僧入万寿寺孤峰和
尚為弟子后還俗日野一位有親勳
之入吉野称帝嘉吉三癸亥年七月
又大内奪神璽於山門戦死一説在
万寿寺時号金蔵主又按東寺長
者補任有高秀者其時代行狀
与金蔵主符合然則逃禪又入真
言宗者乎

北山宮　一宮　自天親王

長禄元年丁丑十二月二日弁松徒衆
夜襲　殺于芳野時年十八

何高月記

阿野宮　二宮　与兄同時被害十六才

号忠義大禪門一宮二宮共脾有和州吉
野郡高皇村高峯福原寺　按紀州
熊野山中色川左兵衛尉家有高野宮
忠義公令旨其令旨有忠義之名然

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

則牌面忠儀之後撰義字者也直以生
諱為死後名者乎不記年号而有癸未
二月字是不用北朝年号之微意欲色
川左兵衛相傳平維盛裔也維盛敗自
西海徙為投那智浦ニ於色川構城據
之其跡于今存四方砦之而不用拵則不
然矣之
按日本史所載是ト同シ僅ニ色川氏ノ記
文及牌銘ノミヲ以證トハシカタシ不足信用
又按癸未ハ応永十年也此宮長禄元年

十二歳ニテ死スル時ハ嘉吉二年壬戌生也
応永十年ハ嘉吉二年ヨリ五十年以前
也然レハ山令旨信信シカタシ
日本史長慶院ヲ列シテ南朝四代トス亢
長慶院ノ事亦信シカタシ土左ノ吾童勝
委ク論ニ置メリ今略之

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

佐渡事略

佐渡三郡　羽茂（ハモチ）　雑太（サハタ）　加茂（カモ）

二百二十二村　内所朱印地之二百二十一ヶ村除

廻り五十里十三町三十間　竪南北廿六里

警衛ヨリ除ク　横東西十三里　内門ヨリ除ク　陸地マテ

高十二万二千十八石一斗一升二合

反畑二町七反九畝歩

見高五万三千二百二十三町　内反三畝十六歩

歩

高社陸奥二万七百二十石二斗六升三合七勺

陸地反別七百寺千四百二十反四畝二十歩

山林反別九千石四斗

寺社元丑十一月改

家数一万八千四百七十軒

男四万三千四百八人

女四万二千三百九十三人

牛二千七百七十七疋

馬八百三千二疋

寺百四十一ヶ寺　内四百二十四ヶ寺五中

男千二百九十三人　七十ヶ寺　根川

女三千九人

牛百四拾足　百ニ拾七足

社人山伏家二百七十ニ軒

男七百一人　女六百七十ニ人

牛九十足　百七十足

合八百八十四人　牛九十人

男四百七十四人　女四百三十七人

牛二百九十九足　百七十足

言二百廿八ヶ所

堂百七十ヶ所

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

當國勢陽寺　金比羅宮　[illegible]

[illegible]　[illegible]

金山寺　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

祇園社　右同郡　羽黒山寺　羽黒
當國一宮　度津郡社　羽黒郡飯野村
八幡　同郡下久米村
野崎　新方郡栗栖村
祇園　同郡祇園村
山王　同郡新蔵村
天満宮　右同郡寺
稲荷　佐西三アリ　宮
金比羅　右同郡
弁財天　右同郡那山

国分寺　新方郡西分村
順徳院御廟　西分村
木比羅山蓮光寺　中郡市代
竹宮アリ　羽黒郡小上村
羽黒山　右同郡
檀特山法花寺　羽黒村
観音寺　右同
法界寺　右同
常福寺　同
蓮光寺　同
右郡寺　同

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

山林　二百七十一ヶ所
百姓林四千七百九ヶ所
内上州金飛　コヨリ制作ニテ出ス
貢物　年々石内
百姓　年一百四
柿木　内　年ニ
海桐皮　ボウタン
蓬莪茂　イチリカウ
辛夷　コブシ
施霞元　チリルセ
遠志　スヽメハキ
前胡　イハウセリ

北五味子　マツフトウ
蔓蕤　アマトコロ
威灵仙　ヤマツヽミ
蓯蓉　シヒニヒウ
草烏頭　ブス
細辛
十外
羌活　サイキ
沙参　トヽキ
防葵　ナトウクサ
鬼臼　ヤクルセ
草薢　カントコロ
薯蕷
兎絲子　ナツエキ
防風　イハウミヽミン
杜仲　マサキノカツラ
升麻　モリタ
萆薢
黑三稜　ツリモ

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

大角豆
櫻麦
百合
藜蒿の新芽
布目石
鞍石
砥石
硬石
水晶

紅花
白蒿
鼠尾草
多し

ミヤウレンホウ石
右鐘乳
蒲萄石
右猪
茅石

猪居
狐
鹿子

市葉石
淵石
黒櫻石
無名異
矢根石

雷斧石
右十七ヨリこれ
トリ
鋼ノ斧
ユウゴリ
計三ノ雑

右兎毛

雪海苔
海松
薄ク

蔓菊石
汁千年
鮫ノ牙
猫鋼

蔓藻
海柳
蛸仏

箱フチ
カゴメヽキ
海ク

海松
右海中ニ生
大葵

ヤシホノミ柳子ニ

吉野ノ海辺ニナレニナカレヨミル

玉萩 大秀村　白蔦 小海村 あゝ門村　雪割草 張山ニアリ 幸ヶ谷村

稲寿草 小川村

人参草 北ノ上ノ所村

鷹巣草 三人 北秋 大秋　岩谷口関所　西浦　江海

鶯ノ子アリ

瑠璃 元文三ニ出ル 上心　家鴨 叶ニヨリテ

海獺 海豹 叶ニヨリテ

葦麻 アミノ

狸

兎

名所　廿一代集及若宮ニ有見當ヲノ

但淡ニヨミルノミ

紙ノ菅原 ねの郷

紙ノ杉原 雑ニ

恵ノ浦 ねも

朋青道 雑ニ

千鳥ノ里日

二見ノ浦 雑ニ

紙ノ子根 ねも

雪ノ子原 雑ニ

玉ノ郷日

草荊見 ねも

常古ノ錦路日

月ノ山 ねも

紙ノ湖 ねも

紙ノ海

○ノ所ハ名高ニ作度西トアリ元敷ノ字ノ角
ハ朝示朝度ノ内ヨリ分ル

金張山洞歩

寛永年中ニ金ヲ掘シ洞歩延数寸のより
ひ作ふ所代ハ所有の事ニテ佐賀村地之
領内之ハ門張山ハ苦長二丈五尺寸ニ
付張山ヲ張山建庸ヶ寸ヶ寸より
割洞歩延数のより ひ作ふ豊長さ
ハ三ヶ蔵所ハ内直山二ヶ所とくとも
割洞歩ハ稼ヶ山ヶ所也

青盤 高長九尺延数
高ヶ 延数年歴ヶ所
寸数
中尾 寸和元ヶ延数
寛永八年延数
雲子 元禄九ヶ延数
桐門張山西方洞歩 高ヶ千七ヶ所 今出
為重ヶ高ヶ為ヶ二ヶ所アリ
高方古ヶ歩ヶ出ヶ所 四ヶ千七ヶ所
アリ

写学ハ金張ノ障子を切り初メ岩元

座のはしらい右畑田ヶ上ハ

北張棚はしらい座ノ口ノ方へ廊下はしら廣中

ノ方

水廊下ハ水ノ門ヲ木元三ツ合はしら元ノ中ニテ

三方へ足ヲ入ル木

打ハしらい為ニ桟ニ打ハ辻足ヲ

きりご一本ノ木ニきりふとけて足ヲ

ちてのはしらはしら

栖構　廣元　はしら元　心拵ワリ

心棚　鉢棚　竹ヲきき棚

竹つきはしら竹ヲ廣中ヲ上リ

苗棚　土右の前ヲ苗山　下リ直ノ直ノ苗

苗木苗棚ニもふ苗

矢木苗木ニ元矢前ニ　土作木廣中ノ木戸

耳　土右のヲ　ヲ土右ヲ苗ルニきり苗

リツロキ

和キ北山ヤ

堅カリヲキ木

廣中ノ三ツリ

けば元　切紙ハさり　廣中

鳥すりて丈ともら八人も

廣中　北方　廣中　月直ヲ

てあひ近 東西ヨリ ほうとを云
横町 南北ヨリ 横ヲ云
冠 上ノ方 髻 下ノ方 髷 右ノ方
髻つま 左方 ひたり 右方 ひだりの方
鬢 ちかい 横ツせト アフラ 横ハ 流文ニ
金張胡粉ノ 壁ニ 也トアリ 金張おとま
あしは 出つき 右ノ云ハ 黒キ おアルヨこと
しは 左ノ 黒キ おアルヨこと 黒キ ゆよ ちらと 光ケ 黒キ おアルつと
ナリリメルモノナハハクサリト云ヘキヨクサレトキニ
以上石野廣通話

一市場 西中 修理 ちまち 光和 病院 ちまち 付 茅 ちまち
ちまち 在ル 再興 西寺 ちまち 在ル 付 茅 ちまち
有ル 日ノ 寺 茅 北 修理 病院 如 茅 ちまち
病院 ちまち 開業ハ 弘化 修理 ちまち 直 如 お言
ちまち 在ル 元和 二年 ノ 月 ちまち 在ル 元和
病院 ヤ ル 薬 門 紙 修理 ちまち ハ 西 在ル
本寛 ノ 比 中院 ちまち 在ル 迄 ヤ ル
一市場 西ハ 横門 甲 ちまち 在ル ちまち 在ル 後
筋 ヨリ 紙 伊 ちまち 再興 ちまち 後 西 寺 在ル ニテ 云
寺ヨリ 修理 冊 ちまち 横ニ 上冊 ちまち 在ル 百 也

十石所進ル由所縁ある家柄、松平倉保親
様、寛代所々の人ハ他所又ハ荒川カ
法名以光院と申ス　筋ナカラ石系　所之　所々の由
一寺場跡ハ此辺ニ有之家も無之、右宣下
内高ハ寺場跡ハ除ク而ハ石且郡名
二ツ内年志内法年市仕ル年ハ知ル事ハ
一寺場跡内法名光源院　松誉貞月上様
延尼　寛ニ水十石年二月二日　此寺跡門
年　新書ニ之
一松平内匠頭ニハ上様、変、内匠ニ命上様ヲ
始メ所々ハ舟ハ志ヲ知ラシテ　拝仏供

二ツ　跡地ヲ以自業終ニ及ばされ家内絶のよ
ハ　立年　義ハ　志ヲ　十七ヶ年　内ヲ始
賀　二ツ　内法ハ切ル
古ハ　内ヲ家ハ　乗合ハ　出分　内　年　ノ中ニ　記之
今ハ　出　之　松　始　長　供　系ニアリ　可見合

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用